

6月10日（月）全校朝会 「プール開きによせて」

校庭のプールのふたをはずして、プールが見えるようになりました。点検を終えて、水をはり、いよいよ、今週の金曜日にプール開きです。みなさん、楽しみにしていますか。

さて、今日は、プール開きに合わせて、学校のプールについてお話します。

私たちにとって、学校にプールがあって、夏になるとプールの授業があるのが当たり前ですが、実は、世界の中で、小学校にプールがあって、学校のプールで授業をするのは、とても少ないそうです。

日本でも、昔からプールがあったわけではないようです。日本で、全国の学校プールが作られたのは、実は、悲しい出来事がきっかけだったそうです。1955年、船の事故で修学旅行中の子供たち168名の命を落としたことをきっかけに、全国の多くの小中学校でプールが作られ始め、全国の学校でプールでの水泳の授業が行われました。今年は、2024年ですから、今から、69年前の事故ということになります。

それでは、千束小学校では、いつプールが作られたのかということ調べてみると、50周年記念誌に書かれていました。

千束小学校では、昭和9年、1934年に作られました。1934年は、90年前ということになります。全国の多くの学校より、早く作られたということです。千束小学校のプールは、地域の人たちでお金を出し合って作ったそうで、学校でも一生懸命水泳の練習をしたので、他の学校からも、「水泳の千束」と言われたほどだったそうです。千束小学校の先輩たちも、がんばっていたのですね。

学校のプールでの学習の昔を調べてみると、水に慣れ親しむ、泳ぐ力をつけるということとともに、私たちの命を守る練習をするという、とても大切な意味があることが分かります。

そこで、みなさんをお願いします。1回1回の水泳の時間を大事にしてください。私が担任の先生をしていたとき、忘れ物をしたり、プールカードを忘れて見学になってしまう人がいました。夏にしかできないプールでの水泳の時間を、忘れ物でできなくなってしまうのは、もったいないことですし、命を守る練習ができなくなってしまうというのは、危ないことです。

今週の金曜日から、プール開きです。充実した水泳の学習にいきましょう。

**学校にプールがあるのは**

**世界の中でも  
めずらしい**



**学校プールがたくさんつくられたきっかけは**



**1955年 子供たち168名が命を落とした船の事故**

**今から、69年前**

**千束小学校にプールが作られたのは**



**1934年 地域の人たちがお金を出し合って作った**

**今から、90年前「水泳の千束」**